

情 報

更生の花は
慈愛の土に咲き



文京区保護司会



販売員
パートタイム
50代



会社役員
保険販売代理店
40代

保護司になるなんて、



郵便局職員
30代

過ちからの立ち直りを支援する、
更生保護のボランティア。

さまざまな年齢や経歴の人が、
対話を通じて一人一人に寄りそう
「保護司」として活躍しています。

話を聴くのが好き。
地域の役に立ちたい。
そんな気持ちを持つあなたも、
次の保護司かもしれません。



IT企業営業
30代

思ってもみなかった。



元公務員
70代



公益法人職員
社会福祉士
20代

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第76回 社会を明るくする運動

主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE



『情報』は文京区ホームページからご覧になれます。

INDEX

ごあいさつ	2
地域活動紹介	
「Oos(大塚オープンスペース)大きくひらく、つながる場。」	4
第 76 回 社会を明るくする運動	6
令和 7 年度三者懇談会	7

令和 8 年度文京区保護司会定時総会	8
福祉政策課地域福祉係紹介	8
転入・新任保護司紹介	9
会務報告	10
更女だより	11
ホッと一息 あとがき	12

二年目のご挨拶

文京区保護司会 会長

山本 諭
やまもと さとし



昨 年の五月に会長の任を受
け一年が経ちました。改め
てご支援をいただいている機関、団体の
皆様及び会運営に携わって下さっている会員に感
謝を申し上げます。

この一年大きく変わったものが、例年通りの行
事の中にありましたが長年の懸案であった7月の
社明運動東京ドームラクーア周辺での啓発活動で
す。これの実施時期を11月にする事ができました。
区の担当課のご尽力の賜物とありがたく思ってい
ます。

そして今決めなければならない事業も現れ、一
つは刑務所から依頼のあった折り紙製更生保護マ
スコットキャラクター、ホゴちゃん・サラちゃん（人
形）購入についてですが、来年度に向け、会とし
て協力して行く方向で話を進めたいと考えていま
す。

もう一つは昨年のブロック協議会（北、荒川、台
東、文京）において話題となったこれもやはりホ
ゴちゃんサラちゃんの、こちらは着ぐるみ作成の
件となります。まず地区で行われる班会のテーマ
として話し合い、会員の意見を聴く事から始めら
れれば良いかと考えております。

ごあいさつ

東京保護観察所 長

勝田 聡
かつた さとし



文 京区保護司会の皆様、こ
の4月から東京保護観察所
長になりました。よろしく願います。

まずは、保護司の皆様におかれましては、日頃
から保護司活動に御尽力いただいておりますこと
に、敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。
また、本誌を読まれている更生保護女性会、B B
S会、更生保護施設、協力雇用主など、更生保護
ボランティアの皆様方におかれても、保護司とと
もに更生保護に御協力いただいております、ありがと
うございます。さらに、地方自治体の関係の部署
や福祉などの関係者の皆様におかれましては、安
全・安心で住みやすい地域作りのために、保護司
との連携協力を強化するとともに、保護司会の運
営、面接場所の提供など日常的に御協力いただい
ていますことに、心より感謝申し上げます。

文京区保護司会では、犯罪をした人や非行のあ
る少年との面接を通じた関わりはもちろんのこと、
会員相互の交流、関係団体との連携、東京ドーム
での活動をはじめとする広報活動にも力を入れて
おられると拝察しております。この会報も読みや
すく、紙面の工夫がこらされていて気持ち伝わ
ってくるように感じます。

一方、保護司適任者の確保はどの保護司会でも
大きな課題となっています。しかし、まずはこれ
だけ多くの皆様が保護司活動をしていただいでい
ることを大切に、保護司活動の成長のためにで
きることをしていきたいと存じます。このたびの
改正保護司法では、保護観察所が責任をもって保
護司会の適任者確保、環境整備、安全確保などを行
うことが明記されました。また、地方自治体の協
力もしやすくなるような改正も行われました。文
京区保護司会のためにお役に立てるよう、より一
層、努力して参りたいと思いますので、どうぞよ
ろしく願います。

結びに、文京区保護司会の皆様と、お世話にな
っている関係者の皆様の御健勝と、一層の御活躍
を祈念しております。

「皆様の活動に支えられて」

文京区福祉部長

鈴木 裕佳
すずき ゆか



日 頃より、保護司会の皆様
方におかれましては、更生
保護事業にご尽力いただきまして心より
御礼申し上げます。

また、「文京区社会を明るくする運動」につきま
しては、歴代の保護司会の皆様をはじめとした更

生保護に携わる方々の思いをつなぎながら、長年この事業に取り組んでこられたことに對し、心より敬意を表します。

このような時代と世代を超えた活動の積み重ねを受け、今年も、「社会を明るくする運動 東京ドーム周辺広報啓発活動」、「社会を明るくする大会」及び「文京矯正展」がごさいます。文京区保護司会の皆様には、中核を担っていただくとともに、区側も頑張つてまいりますのでよろしくお願いいたします。

不透明な社会情勢のもと、血縁、地縁、社縁などの繋がりが脆弱化し、頼れる家族がない、身寄りがいない、相談相手がない等、孤独・孤立感を抱える人がいる中、保護司会の皆様が地域の繋がりに重きを置き、何が出来るのか、現代の課題と真摯に向き合い、相談や支援、啓発活動に取り組んでおられるお姿は大変頼もしく、心強く思っております。

文京区では、令和8年度から「文京区こどもの権利に関する条例」を施行しました。本条例のもと、こどもの権利について、こどもや大人もその内容を正しく知り、地域社会全体でこどもの権利を大切に守っていくための取り組みを一層進めてまいります。あわせて、本年3月には若者が抱える多様な課題や本区特有の傾向を踏まえた「若者計画」を策定するとともに、4月からは若者支援に対する組織を立ち上げております。

引き続き、地域における青少年健全育成施策の中心的な役割を担う保護司会の皆様方とは、子どもたちが健やかに成長することのできる地域環境とともに創り上げてまいりたいと存じます。今後とも、皆

様方のなお一層のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

東京保護観察所保護観察官

まつい ゆきふみ
松井 志文

文

京区保護司会の皆様、関係機関の皆様におかれましては、日頃から更生保護の諸活動にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。



保護観察官となり1年しか経過しておらず、未熟が故に先生方、また関係機関の方々へご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

今まで事務官として官署に係る事務に携わっており、更生保護たる諸活動とは距離がありました。が、昨年、保護観察官となり、他地区ではありますが保護司の先生方や関係機関の方々に関わっていく中で皆様の優しさや熱意を感じることができました。

1年経験した保護観察で一番感じたことは、「先生方と対象者との信頼関係」及び「関係機関の皆様の協力体制」です。

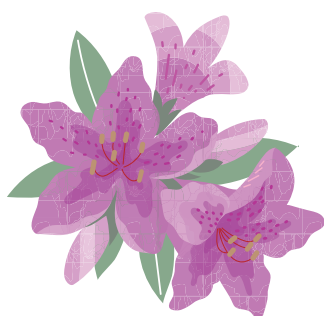
先生方全員の対象者との面接を拝見させていただいた訳ではありませんが、面接中の対象者の表

情を見ていると様々な事情で社会から孤立してしまつた対象者が、時に厳しくも心の底から自分のことを考えてくれていると信頼している様子が伺え、見習いたいと感じる限りでありました。同時に先生方あつての保護観察であると感じ、保護観察官として先生方が悩まれたり、困るようなことがあれば解消することが使命だと感じました。

関係機関の皆様におかれましては、特に社会を明るくする運動において、開催に至る準備から熱心に取り組まれている様子を拝見し、皆様の協力性や熱意、長年育まれた地域性を感じました。今や国内に留まらず国外にも認められた本活動が、より一層世界へ広まることを心より願っております。

保護観察官2年目となり、研修で地区を不在にしてしまう時期がございますが、地区に戻ってからは研修で学んだことを活かし、先生方や関係機関の方々と協力の上、更生保護活動に尽力していきたいと考えております。

まだまだ未熟であり至らぬ点多々ありますが、共に更生保護の両輪として歩みを進めていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



Oos (大塚オープンスペース) 大きくひらく、つながる場。

Oos
OTSUKA OPEN SPACE

Myogadani Lab. 地域プロデューサー 塩川 浩司

茗 荷谷駅近くの中央大学茗荷谷キャンパス2階にある大塚地域活動センター。そこに広がる約193平方メートルの大塚オープンスペース(Oos)で繰り広げられるイベントや展示が、何やら最近賑やかしいと人気となっています。ここ文京区には、地域の人、組織、活動など、価値ある資源がいっぱいあって、それらを紹介して繋ぐ空間としてOosが機能しているのです。

あつまれ。Myogadani Lab.

さて、そのOosのイベントの企画・運営業務を文京区から受託しているのが、(株)図書館流通センター(TRC)という会社で、僕らMyogadani Lab. は、TRCの外部スタッフとして、何か面白いことできないかと、区民のためのイベント企画を提案しているのです。主要メンバーの一人は、文京区社会福祉協議会でも仕事をしている田邊健史さん。三鷹市民なのですが、文京区民以上に文京区内を徘徊

して地域活動のネタと人脈を広げている人。次に、「ご近所茗荷谷界限」という茗荷谷にこだわったフェイสบックを開設し、面白いお店を発掘して発信し続けている稲富滋さん。そして僕。本業はデザイナーですが、名刺には自称地域プロデューサーと書いてます。

語ろう！マイトークから見えるアフストーリー

2023年のOosの開設当初から開催しているのが、mTALKというトークイベント。稲富さんが、茗荷谷界限の取材で話を聞いてきた店主や界限の興味深い経験を持つ皆さんを囲んで直接伺う機会を作ってはどうかという提案で、第1回が、稲富さん自身の話。第2回が、



オトフェス 2025 に集まった、音づくりのアーティストのみなさん。オトフェス参加をきっかけに、海外に羽ばたく音大生も生まれている。左端が田邊さん、後列左から3番目がうめのえりさん。前列右端が塩川。

マツコの知らない世界でも絶賛されたお茶大向かいの秋田の素材にこだわるハンバーガー屋「naught by burger」の藤原海さんのお話と続き、僕が興味深かったのが、第9回。茗荷坂の人気店だった「生活雑貨の店 hibi」の店主、藤瀬寿美恵さんの回。一主婦が一念発起開店に至るまでの苦労、お店の経営から、閉店を決意するまでの貴重な体験を語ってもらいましたが、参加女性の面々が、イベント終了後にそのまま近所のキクヤ(自然食惣菜店・カクウチ)に繰り出して打ち上げへ。hibiで出会ったみなさんが、それぞれに文京区での暮らしを彩り、過ごしやすい環境を整えようと語り合う光景に感動。ああ、こんな居場所、時間から、地域のコロナの豊かさで生まれているんだなあ、こんな人と人の顔の見える関係づくりをしていきたいなあ、実感したのです。

ものづくりのまち文京区

じつは、僕はOosに関わる前から、文京区でやってみたくてありました。それがクラフェス、アーティスト達が一堂に会してワークショップを行う工芸の祭典。音楽は、分かる

んです。文京区民のレベルが高いことは。10年以上前から関台小のコーラスグループに参加し、この地域の音楽知能の高い多くの方々に出会い驚愕してきました。でも僕の本質はデザイナー、ものづくりの達人もきつと多くいるに違いないと思う



クラフェス 2024、25 で「小日向神社御神木磨き」という不思議なワークショップをする私市憲司さん

ていたところに出会ったのが、水道でもくもくはりねずみという不思議な工作室を営む私市瑞希・憲司夫妻。彼らを巻き込んで実現したのが「ものづくりのまち文京区 クラフェス 2023」。今年で4年目になります。やってみれば、来場のみなさんが、本当に楽しくものづくりをする、毎回人気の企画になりました。

それで気をよくして「次は音だ！」と開催したのが、オトフェス。音楽のフェスじゃなくて、あくまでも音づくりのワークショップ。これは、近所の大黒湯さんを介して知り合ったうめのえりさん（東京音大講師）に相談したら、音のインスタレーションをやっている学生がいるとノリノリ。開催してみると、「クラシック音楽のプロだけど、こんなに面白くて五感を刺激するイベントを初めて体験した」という参加者の声もあり、奥の深いイベントになりました。

発見、体験、つながる。

大塚在住の自分のOosでの役割としては、地域のすばらしい人々を発掘してみなさんに紹介すること。2024年の秋、関台小ハロウィン盆踊りでジャンボリミッキーを踊っている時、会場の子ども達を沸かせる愛に溢れたMCに耳を奪われました。声の主は当時関台小おやじの会会長の伊藤伴樹さん。聞けばフリーのツアーコンダクターだけど、コロナで仕事が減って介護職に転身しているとか。同じ時期に近所の大塚公園で、利用者さんに優しく寄り添って散歩の介助をしている林家久蔵師匠を見かけました。同じくコロナで介護の仕事をしていることは更女の講演会で聞いてはいましたが、ここまで真摯に取り組んでいるとは！この親父二人のエンターテイナーから介護職の話をじっくり聞きたい！と実現したのが、「福祉のしごとを始めて感じた魅力」という対話イベントでした。

また、震災直後に能登を訪れたこともあり、ずっと何かやりたいなと思っていた時に、同じ大塚町町会で伝統工芸ライターの関根由子さんに紹介いただいたのが、茗荷谷で漆に特化したギャラ



『Oos Talk VOL.05 福祉のしごとを始めて感じた魅力』出演：林家 久蔵、伊藤 伴樹 2024.12.12



『mTALK VOL.10 普段の暮らしに漆の器を』出演：高森 寛子（スペースたかもり）、関根由子（伝統工芸ライター）2025.9.13



『mTALK VOL.11 街を元気に！でんでん太鼓と学生たちの挑戦』出演：清水大介（居酒屋でんでん太鼓）2025.10.24

リー「スペースたかもり」を主宰する高森寛子さん。1936年生まれ、文京区在住の本当に、本当に素敵な方。一幸庵の3階に漆専門のギャラリーがあるなんて初めて知りましたが、関根さんの司会による「普段の暮らしに漆の器を」は、漆の使い手仲間を増やしたいという一心で、その美しさ、心地よさを伝えてきた高森さんと輪島の職人の思いが伝わるお話で、参加者は実際に高森さんの漆器を手にとって、その質感や色彩、温もりを味わいました。

大塚5丁目で居酒屋を営む清水大介さんは、学生と一緒に文京区中のお祭りのお手伝いをしているという、まちづくりの見本のような動きをしている人。学生さん達も参加したトークはOosが若いエネルギーで満たされました。

いかがですか、Oos。これからも参加した人が、地域の魅力を見つけ、体験を共有し、交流を育む場になっていききたいと思っています。

第 76 回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。今回は「保護司をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」を統一テーマとし、全国で一体的に運動を展開することとなりました。

また、文京区では「文京区社会を明るくする運動推進委員会」を組織し、例年、地域に根ざした運動を実施しています。例年下記の3事業を7月の強調月間に行っていましたが、今年は屋外での「東京ドーム周辺広報啓発活動」を11月の実施といたしました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ 第76回 社会を明るくする運動

文京区社会を明るくする運動推進委員会（構成 30 団体）

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・文京区 | ・文京区町会連合会 |
| ・文京区保護司会 | ・文京区民生・児童委員協議会 |
| ・文京区更生保護女性会 | ・文京区社会福祉協議会 |
| ・文京区青少年健全育成会(9地区) | ・少年補導員連絡会(4地区) |
| ・文京区立小学校長会 | ・防犯協会(4地区) |
| ・文京区立中学校長会 | ・文京区青少年委員会 |
| ・文京区立小学校PTA連合会 | ・文京区商店街連合会 |
| ・文京区立中学校PTA連合会 | ・東京青年会議所文京区委員会 |
- (順不同)

文京矯正展

日 時：令和8年7月9日(木)～11日(土)
9時30分～16時(最終日は15時まで)
会 場：文京シビックセンター地下2階 区民ひろば
内 容：刑務所作業製品の展示・販売等

文京区社会を明るくする大会

日 時：令和8年7月12日(日)
13時開場 13時30分～15時30分
会 場：文京シビックホール 小ホール
内 容：(1) 青少年の意見発表(第六中・第八中・第九中)
(2) 和太鼓演奏(奏者：学校法人駒込学園 駒込中学校・高等学校 和太鼓部)

東京ドーム周辺広報啓発活動

日 時：令和8年11月7日(土)
15時45分～17時 *小雨決行
場 所：東京ドーム周辺等
*セレモニーはラクーアガーデンステージ
内 容：啓発用ティッシュ・リーフレット等を配布し、運動の趣旨を呼びかける。



写真はすべて昨年度の様子です。 いずれも状況に応じて変更する場合があります。

令和7年度 三者懇談会

ネットワーク部 部長 白石 英行

日時：令和8年3月16日（月）15:30～
場所：東京実華道場ステップ押上



施設前で参加者一同

文 京区更生保護女性会、更生保護法人東京実華道場、文京区保護司会の三者懇談会に参加

総数33名で、2024年落成した更生保護施設ステップ押上にて行いました。

東京実華道場森山理事長、担当の倉住さんと富田さんから、2023年施行された更生保護施設での特定補導について説明がなされ、ステップ押上では類別（下図）に分けられたA～D群の内、B、C及びD群について、施設担当者を含め、地域の力も取り入れた支援体制を構築していることの報告を受けました。

更生保護施設は全国で102箇所、東

A群	認知行動療法等 (薬物依存回復プログラム等)	認知行動療法等に基づき、特定の犯罪的傾向を改善するための体系化された手順により対象者の認知の偏りなどを修正し、問題行動を変容させることを内容とするもの
B群	依存回復訓練 (グループ・ミーティング等)	グループ・ミーティング等の形式で実施され、薬物、アルコール、ギャンブル等に対する依存からの回復に向けた取組を実施又は維持させることを内容とするもの
C群	社会適応訓練 (ソーシャルスキル・トレーニング等)	SST、就労セミナー、コラージュ療法等、自立した生活を営む上で改善すべき個別の課題や問題性を解消するために個別的に働き掛けることを内容とするもの
D群	地域移行支援 (社会奉仕活動、地域交流活動等)	社会奉仕活動、地域交流活動等、自立した生活を営む上で必要な集団における体験や機会を提供することを内容とするもの

の橋渡し
実施され、
⑥退所後のフォローアップが
特に施設の専門性を発展的に

京で18箇所ある中で、対象者の特性に応じた専門的な指導や支援が求められています。
当施設では
処遇理念「去華就實」を掲げ「外見の華やかさを取り去り、実際に役に立つ人間になる」とし、
①社会生活に
適応する為の
生活指導 ②
貯蓄や金銭管理指導 ③就
労に向けた指
導や援助 ④
更生保護施設
退所後の住居
調整 ⑤福祉
や医療機関へ

構築するために取り組む姿勢は、しなやかな支援体制の確立が期待され、ステップ竜岡が閉鎖された後にも、その利用者の来訪があることなど、生活に関する応援を継続的に行う必要があることを認識致しました。
また施設見学を実施し、ハード・ソフトの両面において利用する対象者に配慮がなされていることも実感致しました。
その後、三者意見交換会を開催し、三者のそれぞれが取り組む課題等やそれぞれの立場で支援する事の重要性、そしてこの三者が手を携えることで、更なる対象者支援の充実を図ることができることの情報共有を行いました。
この三者懇談会は、更生保護施設に求められる役割の多様化、そして地域社会におけるその存在の重要性を、改めて強く実感する貴重な機会となりました。



説明風景



施設内見学

令和8年度文京区保護司会定時総会・懇親会

日 時：令和8年5月13日（水）

16時開会 懇親会 17時より

場 所：文京区民センター2A

出席者：71名（保護司47名 他24名）

来 賓：文京区長 区議会議長 東京保護観察所統括保護観察官・文京区担当保護観察官 文京区更生保護女性会 桐友会 所轄警察署 文京区福祉部長・福祉政策課長・地域福祉係長 区立中学校長会長 区立小学校PTA連合会長 区立中学校PTA連合会長 青少年委員会会長 社会福祉協議会事務局長



総会

定

時総会は、多数の来賓と保護司会員の
もと開会され、全員による「保護司信条」
を唱和。続いて会長挨拶が有り、会則
により出席者のなかより名取顕一議長が選出さ
れ、議事進行。

- ・令和7年度事業報告
 - ・令和7年度歳入歳出決算報告
 - ・令和7年度監査報告
 - ・令和8年度事業計画案
 - ・令和8年度歳入歳出予算案
- すべての議案が満場一致で承認されました。

来賓の皆様からは、日ごろの保護司と保
護司活動への感謝、励ましの言
葉をいただきました。

会長挨拶、文京区福祉部長の
挨拶の中で、保護司会の大き
な活動の一つである「社会を明
るくする運動」に於いて、東京
ドーム周辺の広報啓発活動に
限って、本年は猛暑の7月から
11月の開催に変更、検討中であ
るお話が有りました。ここ数年
の猛暑の中で活動に於いて
参加して下さる皆様の体調を
鑑みての事で有ると思われま
す。

文京区における保護司及び
保護司会の活動がいかに多く



市川秀子さんへ春の褒章
のお祝い

の地域の皆様、関連団体との協力があつて進めら
れているか再認識させられました。

総会後に懇親会を開催、成澤区長はじめ多くの
関連団体の皆様からお言葉をいただきました。か
つてケータリングによるセンターテーブルの料理
を囲んだ事を思い出しますが、今年も三段重弁当
を頂きながら、歓談いたしました。

（総務部 加文字秀次）



福祉部福祉政策課 地域福祉係の皆さん

【左から】岡部さん 須藤さん 係長 宮原さん 佐藤さん 課長 進さん 権瓶さん

駒込班

鈴木 利明 としあき



令和6年5月に保護司を拝命いたしました鈴木利明と申します。現在、証券会社に勤務しております。前任の亀田先生にご推薦いただいたことが、この道に踏み出すきっかけとなりました。

母が横浜市で長年保護司を務め、昨年退任いたしました。対象者の方からSOSの電話が入るたび、バイクに跨って飛び出していく母の姿を、子どもの頃からずっと見てきました。「大変な仕事だな」と思う一方で、それほど慕われている母をどこか誇らしくも感じていました。

その背中が、気づけば私をこの道へと導いていたように思います。誰かに迷わず電話をかけてもらえる存在を目指し、誠実に職務に臨んでまいります。先輩の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大塚班

加藤 大 だい



昨年6月に品川区より転入してまいりました、加藤大と申します。

これまでNPO活動を通じて、困窮家庭の高校生や不登校・引きこもりの若者、ひとり親家庭・ホームレス状態の方・外国籍の方など、様々な困難を抱えた方々

の支援に携わってまいりました。

保護司として、一人ひとりに丁寧に寄り添いながら、地域で共に生きる関係をつくっていききたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本富士班

勝沼 浩史 ひろし



『言葉の余韻』

この度、新任保護司としてご挨拶の機会をいただき感謝を申し上げます。

寄稿のご依頼をいただき、これから、実は約2か月が経過します。

学生時代の路上生活者支援や、理想を追い求めるあまり自分を傷つけた経験など、書きたいことはいくつもあります。それらは今後の研鑽や交流の場ですまみとしてお話しできればと思います。

最後に、意気込みに代えて、尊敬する母からの言葉を紹介させていただきます。「何かあったらいつでも言ってね」。何気ない一言ですが、私に困難に向き合う勇気を与えてくれました。私もまた、対象者の心の支えとなる保護司でありたいと思います。

富坂班

亀山 恒夫 つねお



2月より保護司を委嘱されました。

現在、富坂地区の民生児童委員も務めさせてい

ただいております。民生児童委員は、地域の方の暮らしの中の困りごとをうかがい、専門の機関に繋げ、困りごとの改善・解消に取り組みます。

保護司は、社会から一度切り離された方が、再び私たちが暮らす社会の一員として生活できるように自立を助け、再犯防止に取り組むことと学びました。

異なるように見えますが、抱えている困りごとを知り、それをどのように改善し、解消するかをともに考え、伴走する点で共通しているようにも思います。

一人一人置かれている状況は千差万別。課題にともに向き合えるよう伴走し、対話を大切に取り組みせていただきたいと思います。

大塚班

伊藤 裕恵 ひろえ



『私が出会いたかった人達』

今年の2月に仲間入りさせていただきました。

3人の子育ての終わりが見え始めた2年前報道で保護司に関するニュースを見かけるようになり、その時私は「何故こんな危険（と思う）な仕事をわざわざ引き受けるんだろう」と疑問を抱きました。その疑問はずっと私の中で燦々としていて、ある日本当に偶然保護司のドキュメンタリーを見ました。

その時私の疑問が解決しました。

「こういう仕事だから引き受ける人がいるんだ」はつきり思いました。そして多分保護司の方達は「私がいつか出会いたかった人達」だと思いました。

事実私が出会った先輩方は「私がずっと出会いたかった人達」でした。頑張ります。よろしく願います。

富坂班

長谷川 陽一 よういち



3人の子がお世話になった、区立小学校のPTA会長を引き受けたのが平成11年。以来、地域の青少年育成活動に携わって来ました。町会の役員もやり、令和5年度からは町会長を拝命しております。

高校まで広島で、東京暮らしは倍以上。なのに最近家庭内では「備後弁」が炸裂します。家内から「導火線が短い！」とも言われます。私の父も妹たちも組織内では従順でなく、これは家系と悟りました。

保護司に「こんな私が務まりますか？」と、複数の先輩にお尋ねしたところ、「傾聴が大事。大丈夫！」と背中を押され今に至ります。

各種研修で、みなさまの真摯な取り組みを知り、残りの人生、少しでも他人様のお役に立てばと思っております。

会務報告

■令和8年度定時総会・懇親会

令和8年5月13日(水) 16:00～18:30
於…文京区民センター2A
出席者…47名 他24名

令和7年度事業報告、決算報告、監査報告
令和8年度事業計画、予算案 (伊藤記)

■合同班会

令和8年2月6日(金) 18:30～20:30
於…文京区民センター2A
出席者…39名

府中刑務所の概況と被害者施策
講師 府中刑務所長 西岡慎介氏
新任保護司の紹介 (水木記)

■第三期定期研修

令和8年2月17日(火) 15:00～17:00
於…文京区民センター3A
出席者…37名

4号保護観察対象者の処遇について
(市川記)

■自主研修

令和8年5月28日(木) 18:00～20:30
於…文京シビックセンターシルバーホール
出席者…31名

年間行事の活動説明
管外研修のお知らせ
事例研修、各部会からの連絡事項
(市川記)

■令和7年度会計監査会議

令和8年4月3日(金) 13:00～14:00
於…諏訪監事宅
出席者…5名

令和7年度会計決算内容検討及び監査を実施
(伊藤記)

■新任保護司推薦委員会議

令和8年5月8日(金) 10:00～11:00
於…文京シビックセンター2102
出席者…5名 他2名

新任保護司候補2名につき協議
区内審査後観察所へ申請予定 (伊藤記)

■正副会長会議

令和8年2月2日(月) 18:30～19:50
於…文京区民センター4A
出席者…7名

定例研修、合同班会、年度末事業に向けて検討、確認
(伊藤記)

令和8年3月2日(月) 18:30～19:30
於…文京区民センター4A
出席者…7名

理事会について、観察所長との話し合いについて
(伊藤記)

令和8年4月1日(水) 18:30～19:40
於…文京シビックセンター1102
出席者…6名 他2名

福祉政策課長交代のご挨拶
令和8年度事業、理事役員会議に向けて総会会計監査を諏訪宅にて開催したこと
の報告

理事役員会に向けてシビックセンター会議室を年間予約
(伊藤記)

令和8年5月1日(金) 18:30～20:00
於…文京シビックセンター1102
出席者…8名

定時総会の打合せ、理事役員会、管外研修について
(伊藤記)

令和8年3月26日(木) 18:30～20:00
於…文京シビックセンター2103
出席者…21名

令和7年度各部…各班から活動報告・決算報告
令和8年度各部…各班から活動予定
令和8年度観察所長勝田聡氏、文京区担当主任官松井志文氏
(伊藤記)

令和8年4月16日(木) 18:30～19:30
於…文京シビックセンター2102
出席者…21名

福祉政策課人事変更報告

令和8年度総会について
令和7年度会計決算報告監査報告
令和8年度会計決算報告監査報告

■総務部会議

令和8年4月24日(金) 18:30～19:30
於…文京区民センター4A
出席者…11名

令和8年度定時総会の役割分担、準備について
当日の来賓の確認
ほか、事務連絡
(伊藤記)

令和8年3月23日(月) 15:00～15:35
於…第九中学校
出席者…2名

1、2年生の保護者会で保護司会の活動紹介を行った
(今井記)

令和8年3月6日(金) 18:30～19:20
於…文京区民センター2B
出席者…6名

情報590号校正及び会議
情報591号編集及び会議
(山田記)

令和8年3月27日(金) 13:00～14:30
於…文京シビックセンター15A
出席者…11名 他3名

情報590号送付作業及び会議
(山田記)

令和8年4月30日(木) 10:00～12:00
於…槐の会、小石川福祉作業所、シビックセンター青少年相談室、サポートセンター

出席者…2名 他松井主任官
対象者の社会貢献活動受け入れ施設など案内、説明をした
(伊藤記)

令和8年3月10日(火) 18:00～20:10
於…mAmA5108 (ままごとや)

令和8年3月9日(月) 18:00～20:00
於…遠州屋
出席者…14名

事例報告、意見交換
(石渡記)

■駒込班会議

令和8年3月18日(水) 18:30～20:00
於…駒込小学校図書室
出席者…8名 他1名

駒込警察署少年係長による講話
事例検討
(水木記)

■保護司が参加した行事

保護司・更生保護女性会・BBS会員・更生保護施設四者連携強化研修
令和8年2月13日(金) 13:30～16:00
於…東京保護観察所
更生保護施設と保護司会・更女会との連携のありかた
BBS会の育成と他三者との連携・協力のありかた
(時田記)

令和8年3月25日(水) 11:30～13:30
於…ヒュリックト野広小路ビル 梅の花
交流会で顔合わせし、親睦を深めた
(伊藤記)

令和8年3月25日(水) 13:30～15:00
於…文京シビックセンター2101
出席者…4名

令和7年度事業報告、決算報告、監査報告・承認
令和8年度事業予定、予算予定 (伊藤記)

令和8年5月28日(木) 13:30～15:00
於…東京保護観察所
出席者…2名

令和8年度の会計提出書類の説明を受ける
(伊藤記)

令和8年5月11日(月) 14:00～15:00
於…文京区民センター2A
青少年健全育成会事業報告・青少年プラザの運営について
アクアベースの運営について (伊藤記)

令和8年5月11日(月) 14:00～15:00
於…文京シビックセンター3階会議室
令和7年度事業報告、決算監査報告
報告事項 (伊藤記)

その他、区立小中学校の行事、学校運営協議会、学校運営連絡協議会等に出席

令和8年春の褒章
藍綬褒章 市川秀子氏

那覇市より転入
令和8年4月
駒込班 仲本 徹氏

新任保護司
令和8年5月25日付
駒込班 関 康浩氏
大塚班 佐々木文彦氏

事務担当者連絡協議会
令和8年5月28日(木) 13:30～15:00
於…東京保護観察所
出席者…2名

■その他外郭団体への参加

文京区青少年問題協議会幹事会
令和8年2月20日(金) 14:00～15:00
於…文京区民センター2A
青少年健全育成会事業報告・青少年プラザの運営について
アクアベースの運営について (伊藤記)

文京アカデミー理事会議
令和8年5月11日(月) 14:00～15:00
於…文京シビックセンター3階会議室
令和7年度事業報告、決算監査報告
報告事項 (伊藤記)

令和8年5月25日付
駒込班 関 康浩氏
大塚班 佐々木文彦氏

令和8年5月25日付
駒込班 関 康浩氏
大塚班 佐々木文彦氏

令和7年度四者連携強化研修に参加して

文京区更生保護女性会会長 西川 素子

日時 令和8年2月13日(金) 13:30～16:00
場所 東京保護観察所

東

京保護観察所集団処遇室において、保護司・更生保護女性会・BBS会員・更生保護施設四者連携強化研修が行われました。あらかじめ希望した

①更生保護施設と、保護司会・更生保護女性会との連携・協力の在り方 ②BBS会の育成と、保護司会・更生保護女性会・更生保護施設との連携・協力の在り方のグループにわかれ、「シームレスな連携の事例、考えられる取組等」の議題でグループ討議を行いました。

私は②のグループで品川、大田、板橋、練馬各区の保護司会・更生保護女性会・BBS会の方々と、それぞれの活動、課題について意見交換を行いました。いずれのBBS会も活動の充実を望んでいるものの、学生の間だけの活動となるため会長が毎年変わるBBS会もあるなど、外部との連携がとりづらいという課題が見え、どの区も「社会を明るくする運動」での連携はとれているものの、そのほかの活動についての連携はなかなか難しいようでした。

文京区のBBS会は令和5年に設立された、まだ新しい団体です。更女もそうですが、地域性もあり、直接更生保護に関わる活動は多くありません。BBS会同士では区を超えて連携、活動しているなど工夫もみられ、充実した活動を、との思いは十分に感じられました。活動時間などを考えたとお声がけを躊躇してしまうこともありますが、まずは今ある更女の活動に積極的にお声がけさせていただきたいと思います。

令和8年度文京区更生保護女性会定時総会

文京区更生保護女性会副会長 岡崎 礼子



日時 令和8年5月20日(水) 13:30～15:00
場所 文京シビックセンター2101・2102会議室
出席者 来賓10名 会員・賛助会員58名 地域福祉係2名

令

和8年度文京区更生保護女性会総会を開催し、多くの会員の皆様にご出席いただきました。当日は、佐藤正子文京区副区長、市村やすとし文京区議会議員、軽部秀章東京保護観察所首席保護観察官、山本論文京区保護司会会長、増田紘高文京区BBS会監査よりご挨拶を賜り、また、横山智恵子東京更生保護女性連盟会長からはお祝いのメッセージが届けられました。

来賓挨拶の中では、更生保護の活動において、更生保護女性会の存在は「ほつりできる活動」であり、地域に安心感や温かさを感じていただけたとお言葉をいただきました。会員一人ひとりの日頃の活動が、地域社会の支えとなっていることを改めて実感する機会となりました。

総会は議事、報告とともに滞りなく進行することができました。ご協力いただきました会員の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

昨年、西川新会長のもと新体制がスタートし、手探りの中で活動を進めてまいりましたが、多くの皆様のお力添えにより、一歩一歩前進することができました。今後関係団体との連携をさらに深めながら、犯罪予防活動や青少年の健全育成、更生保護施設への支援などに取り組んでまいります。

そして、会員の皆様が無理なく、誰もが楽しく参加できるボランティア団体として、地域に根差した活動を広げていきたいと思っています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



駒込班 戸野塚一枝

我が家のお正月は、家族揃って箱根駅伝をテレビで観るのが恒例なのですが、六年前のこと、あと七、八百メートルで青山学院大学の選手がゴールのテープを切る、という時に、「オレ結婚するわ」と二男から突然の宣言がありました。驚き過ぎて酔いも一気にさめ、青学が優勝したことは覚えていますが、ほかのチームがどうなったのか、全く記憶にない状態でした。二男の宣言に幸せいっぱいでしたが、ちょうどコロナ禍で、何事も中止となった時期でしたので、さてどうしたら良いものかと、心配も大きいのしかかってきました。結局は二人の希望でお友達を大勢呼んで、思い出に残る結婚式となりましたが、どなたも体調を

崩された方がなかったので安堵しました。

我が家は三人の高齢者がおりましたが、年齢で三人が二人、二人が一人となり、今年に入って義父が亡くなりました。義父には息子二人をずっと可愛がってもらい面倒を見てもらいました。三年前、義父にはひ孫を抱いてもらうことができ、遊びに来るたびに「じいじ、じいじ」とひ孫に呼ばれて、とても嬉しそうでしたので、今思えば、ほっとしています。

大塚班 塩川浩司

「シオカワさん山菜おいしいおいしい言うけれど、やつぱり畑の野菜にはかなわんて」。貸農地で「しおじい畑」に着手して4年目の初夏、昔言われたこの南魚沼のケンサク先生の言葉を思い出す。当初は、「無農薬無肥料、不耕起栽培の自然農法だ！」なんて自

分に言い訳しながら、ほつたらかしの草ボーボー。カブで2時間半かかる片田舎に週一も行ける暇もなく、あまりの荒れように隣畑のサトーさんの目も厳しい。トマトは全滅、収穫時期を逸した大根大のズッキーニ、蝶々のために植えているようなブロッコリー、数だけできた大小の茄子、掘る暇がないじゃがいも、その味はというと！ うん？ なんか違う。皮が厚くて、やつぱりどれもアクが強いような気がする。無農薬なら何でも美味しいとは限らない！

そこでケンサク先生の言葉。今年、本腰を入れてみよう。まずは、サトーさんに迷惑をかけないように、畑全部にマルチを張って雑草対策。微生物資材を最初に仕込んでフカフカの土にしよう。納豆のネバネバをペットボトルで培養して散布液に。芽かきの仕方も勉強しとかなきゃ。あー忙しい、畑でもホッと一息つく暇がない。

あとがき

ペルシャ湾のホルムズ海峡が封鎖されてからもうすぐ3か月がたとうとしています。日本は原油の9割を中東に依存してそのほとんどがホルムズ海峡を通過しなければなりません。車を運転する人はガソリン、医療関係では手袋、スーパードではビニール袋とさまざま不足となり、その影響が身近に迫ってくる感じがします。お菓子の袋からもカラーが消え、モノクロとなる商品もでてくるようで、いつまでどこまで影響が続くのでしょうか？ 長期化が懸念されます。

まさかインク不足から『情報』まで以前のようなモノクロに!? などとならないように願うばかりです。カラーになって読みやすくなり、広報部員によるインタビュー記事も好評をいただいています。

これからも皆様に読んで良かったと言われる広報誌をお届けいたします。今年度もよろしくお願いいたします。

大橋 喜子

〈広報部〉 堀内 山田 大橋 米岡 浅川
根尾 岸田 岡崎 西川 山口(青)
塩川 市原 菊川 柑本

情報 第五九一号

編集 文京区保護司会 広報部
発行人 文京区保護司会会長 山本諭
事務局 文京区春日一六二一
文京区役所福祉政策課内
企画・宣伝協同組合
印刷所 エコフィールド事業本部